インターンシップ、見学に参加された薬学生のみなさまへ

　滋賀県における薬剤師数は年々増加していますが、人口10万人あたりの薬剤師数は全国平均を下回っています。また、令和5年度に実施した調査の結果、薬剤師の地域偏在と業態（病院-薬局）偏在が生じていることが明らかになっており、県では薬剤師確保対策を保健医療計画に位置づけ、種々の薬剤師確保対策に取り組んでいます。

　今後の施策の参考とするため、アンケート調査に御協力をお願いします。

【調査対象】

　　県内の病院が実施するインターンシップ、見学に参加した薬学生の方（大学院生含む）

【調査結果】

①調査結果は薬剤師確保対策事業の円滑な執行のための検討の他、以下②の事項以外には使用しません。

②調査結果は、学会報告、論文、報告書のデータとして個人情報を伏せた形で使用する可能性があります。

【アンケート締切】

・インターンシップ、見学に参加後、２週間以内に「しがネット受付サービス」<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/surveys/9062108481035714872>にてご回答ください。



（本様式を用いて回答される場合は、インターンシップに参加した病院に提出いただくか、下記問い合わせ先に提出してください。）

【問い合わせ先】

滋賀県健康医療福祉部薬務課薬事指導係

〒520-8577 大津市京町四丁目1-1

TEL：077-528-3634

FAX：077-528-4863

メール：yakumu@pref.shiga.lg.jp

**（本用紙を用いて回答される場合は、回答欄に　直接記入　または　あてはまるものに○をしてください）**

**１．回答者についてご回答ください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 回答項目 | 回答欄 |
| 大学名（必須） |  |
| 出身地（必須）\*高校時代の居住地 | 滋賀県、京都府、近畿地方（滋賀県・京都府除く（府県名：　　　　　）その他（都道府県名：　　　　　　　　　） |
| 現居住地（必須） | 滋賀県、京都府、近畿地方（滋賀県・京都府除く（府県名：　　　　　）その他（都道府県名：　　　　　　　　　） |
| 参加時の年次（必須） | 1回生、2回生、3回生、4回生、5回生、6回生、大学院生 |
| 参加した病院名（必須） |  |
| 参加した時期（必須） | ４～５月、６～７月、８～９月、１０～１１月、１２～１月、２～３月、 |
| 参加日数（必須）\*延べ日数 |  １日、２日間、３日間、４日間、５日間、６日間、１週間以上、 |

**２．インターンシップ、見学の参加ついて**

|  |  |
| --- | --- |
| 回答項目 | 回答欄 |
| 参加したきっかけ（必須）\*複数選択可 | ①病院薬剤師の業務に興味があったから②参加した病院に興味があったから（就職希望含む）③先輩や知り合いに誘われたから④何となく⑤その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 知った方法（必須）\*複数選択可 | ①病院からの案内（ホームページ等）を見て②大学からの案内を見て③滋賀県の案内（ホームページ等）を見て④先輩や知り合いからの案内⑤その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 他病院への見学の有無（必須）\*回答日時点の実績（予定） | 有　　／　　無 |
| 参加した満足度（必須） | ①大変満足②満足している③普通④不満⑤大変不満 |
| 印象に残っている業務や講義等（必須） | （自由記載） |

**３．参加前後における病院薬剤師に対する印象の変化**

|  |  |
| --- | --- |
| 回答項目 | 回答欄 |
| 病院薬剤師として勤務することに対する意識の変化（必須）\*以下のそれぞれの項目について、印象が良くなったものを①として、印象が悪くなったものを⑤として５段階で回答してください①良くなった②少し良くなった③変わらない④少し悪くなった⑤悪くなった（就職先が病院希望ではない場合も回答してください） |
| 給与水準や昇給ペース |  |
| 勤務時間や休暇の取りやすさ |  |
| 業務内容 |  |
| やりがい |  |
| 多職種との関係性 |  |
| 職場の人間関係、サポート体制 |  |
| 育児や介護等の休業制度 |  |
| 通勤のしやすさ、公共交通機関の整備 |  |
| 福利厚生制度 |  |
| スキルアップのための支援・研修制度 |  |

**４．薬剤師の従事先の地域偏在や業態偏在を解消するための取り組みについて**

|  |  |
| --- | --- |
| 薬剤師に業態偏在（病院-薬局）や地域偏在があることについて（必須） | ①大学の講義や実務実習等で聞いて知っていた②今回参加したインターンシップ（見学）で初めて知った③知らない④その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 業態偏在\*（病院-薬局）解消のため有効と考える取組（病院が実施するもの）について（必須）\*現状では、病院薬剤師が不足（複数選択可） | ①給与水準の見直し②勤務時間、勤務体制の見直し・柔軟化③育児休暇等子育て支援制度の充実④スキルアップ支援や教育プログラムの充実⑤奨学金の返済支援制度⑥住居手当等就労支援の充実⑦病院薬剤師に関する情報の発信（HP充実等）⑧その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 業態偏在\*（病院-薬局）を解消するめに有効と考える取組（行政が実施するもの）について（必須）\*現状では、病院薬剤師が不足（複数選択可） | ①奨学金返済支援制度等の創設②県内病院や病院薬剤師に関する情報の発信③薬学生向け就職説明会・フェア等の開催④小中学生向け薬剤師職業体験⑤高校生向け薬剤師職業体験⑥その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| その他、薬剤師の地域偏在や業態偏在に関してご意見がございましたらご自由に記載してください。（任意） |  |

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。